

地元の幸をソラでつなぐ「空陸一貫 高速小口貨物輸送サービス」
『ソラチョコ便』が鹿児島エリアでサービス開始！
～ 種子島の“活車海老”を当日中に東京・豊洲市場に配送 ～

株式会社ソラシドエア(本社:宮崎県宮崎市 代表取締役社長:高橋 宏輔)は、2023年5月10日(水)から、鹿児島エリアにおいて空陸一貫 高速小口貨物輸送サービス「ソラチョコ便」の拠点間配送(配送エリア:鹿児島エリア⇒関東指定エリア)を開始します。



熊野養殖場



出荷作業の様子



活車海老



ソラシドエア機体と貨物車両



ソラチョコ便
SOLACHOKUBIN

「ソラチョコ便」は、ソラシドエアによる“荷主からの引き取りや納品の陸上輸送”と“航空輸送”を一貫して行い、お預かりしたお荷物を「当日中」にお届けするサービスです。2021年10月に宮崎エリアで事業を開始し、鹿児島エリアは2拠点目となります。

車海老日本株式会社(本社:鹿児島県南九州市 代表取締役:谷邊 靖泰)が所有する種子島の養殖場(鹿児島県西之表市および熊毛郡中種子町)で水揚げされた活車海老を当日中に鹿児島から空輸・陸送し、東京 豊洲市場での競りに間に合うようお届けします。配送中は温度管理を行い、活車海老を冬眠状態にすることで鮮度を維持します。

「ソラチョコ便」の特長は、集荷先から配送先までほぼノンストップで、高い品質を維持した状態で配送できることです。羽田空港到着後は航空機から直接車両に搭載することにより、空港エリア内の貨物上屋で引き取りを行う従来の配送方法よりも配送時間の短縮が可能となりました。

鹿児島エリアにおいても、距離と時間の壁を超えた地元の新しい価値をお届けします。

<事業概要>

事業開始日	2023年5月10日(水)
搭載便	ソラシドエア 80便〔鹿児島 20:40 発→東京(羽田)22:20 着〕
輸送品目	活車海老(種子島産)
配送ルート (下線部分をソラシドエアが実施)	種子島養殖場[10:30 頃]→(カーフェリー)→鹿児島南ふ頭[17:30]→(陸送)→鹿児島空港→(ソラシドエアで空輸)→羽田空港→(陸送)→豊洲市場[23:15 頃]



【車海老日本株式会社 会社概要】

創 業 1972 年
資 本 金 9,500 万円
養 殖 場 国内 7 カ所(年間生産量 110トン)
代表取締役 谷邊 靖泰



所有する養殖場のうち、種子島にある 2 養殖場の生産量は年間約 50 トン。離島であるためコロナ禍で物流不全に陥り、出荷量が絞られたことで養殖生産サイクルに大きく影響している。

■ 代表者コメント

今回の鹿児島におけるソラチョコ便サービス開始により種子島の養殖生産サイクルの正常化が期待できる。

地元の^{さち}幸をソラでつなぐ『ソラチョコ便』

～ソラシドエアからはじまる地元をつなぐ新しいソラのかたち～



ソラシドエアが空を通して、地元の方の手から旬のモノや想いを直接・迅速に首都圏へお届けするということ、そして地元と共創する「九州・沖縄の翼」ソラシドエアだからこそできる今までにない独自サービスであることを表現しました。

地元の^{さち}幸には海や山でとれる食べ物(品)だけでなく、しあわせや幸福との意味もあり、そのような^{さち}幸を空からソラシドエアが届ける地元の架け橋になりたいという想いを込めています。

<https://www.solaseedair.jp/solachokubin/>

